

オウム真理教対策住民協議会ニュース

観察処分期間更新の署名活動が進んでいます 「応援するからがんばってよ!!」 の掛け声も

住民からの励ましが活動の力に

思わぬ人からの励ましの声掛けは嬉しいものだ。たとえ10000人の通行人が、呼びかけに全く関心を示さず通り過ぎてても、たった1人が「応援してよ」と声を掛けてくれたことで嬉しくなり勇気も湧いてきます。今回の署名活動では、そのような励ましの声をたくさんいただいています。これまで何年も地域のイベント会場に伺い、募金活動でお世話になりましたが、今年には観察処分期間更新の署名も同時に行っています。すでに3ヶ所ほど行いましたが、地域の皆さんは暖かく協力的で、多くの署名・募金が寄せられています。そのような中で、住民の皆さんと対話が生まれ、参加した会員が、署名や募金の目標達成に確信を持つようになっています。オウム真理教がこの地域に居住していることを知らなかった人に、オウム真理教や観察処分のことを話すと、心よく署名に応じてくれました。署名用紙を何枚も持ち帰って協力してくれる人、がんばってと募金をして励ましてくれる人など、署名に関心を寄せる人が増えてきています。

鳥山地域
オウム真理教対策
住民協議会

6回目の観察処分期間更新の署名活動

観察処分とは、オウム真理教を規制する3年間の期限付きの法律で、更新が否かが3年毎に審査されることとなっています。もし



観察処分が更新されなければ、オウム真理教の後継団体ひかりの輪・アレフへの規制が終了し、以前のような恐ろしい団体に逆戻りする可能性も考えられます。私達は、そのことに危惧を抱き、3年毎に観察処分の期間を更新させる署名に取り組みできました。現在配布されている、町会・自治会の回覧板に、署名用紙が挟んでありますので是非ご協力をお願いいたします。また署名用紙が必要な方は住民協議会にご連絡ください。今回は9月末日まで署名活動を行い、それを持って国の機関に要請行動をとる方針です。尚、7月16日(日)午後4時から、鳥山区民センター前で街頭署名活動を行いますので、買い物ついでにお出かけください。

鳥山地域に居住する ひかりの輪と上祐史浩の正体

オウム真理教が、22年前(平成7年)地下鉄車中に猛毒サリンを散布したことで、13人の尊い命が奪われ、負傷者6000人余の大惨事となり、今なお人知れず後遺症で苦しんでいる人も多くいます。この事件を実行したオウム真理教の後継団体が、ひかりの輪とアレフで、ひかりの輪(上祐派)は現在も鳥山地域に集団居住しています。団体の正体は、代表の上祐史浩の人格そのもので、嘘と欺瞞に満ちています。上祐は見た目は温厚そうですが、性格は気まぐれで、信者を怒鳴り暴言もはばかりません。ひかりの輪施設前で監視活動をしてきた住民にも暴言を吐き恐れられる存在です。ひかりの輪は、上祐がアレフの中で孤立し脱会、設立したもので、脱麻原をお題目にしていますが、多くの信者はその麻原を信奉しているという、何とも節操のない団体と言えます。近頃は「宗教でなく哲学サークル」などと主張しているが、ひかりの輪の本来的目的は、観察処分から逃れることにある、そのためには手段を選ばない団体です。こんな団体が観察処分から解除、と考えただけでも未だ恐ろしくなります。住民の皆さんへ呼びかけます。観察処分期間更新の署名に一人残らずご協力いただき、オウム真理教の後継団体、ひかりの輪・アレフの「解散・解体」を実現しましょう。

オウム真理教対策関係市区町連絡会総会

6月2日(金)午後2時より全国町村議員会館に於いて、平成29年度オウム真理教対策関係市区町連絡会の総会が開催されました。連絡会は、25市区町で構成され、5地域の住民協議会も参加しました。

平成28年度の活動報告と歳入歳出決算、監査報告があり、全会一致で承認されました。次に役員改選が行われ、会長に足立区が再選され、副会長に小諸市(長野県)、監事に川口市(埼玉県)、福津市(福岡県)が就任されました。

また、平成29年度の活動方針として、札幌市のようにオウム関連施設が存在する未加入の自治体や、都道府県レベルの参加協力を更に呼び掛け、来年1月末が団体規制法に基づく観察処分の見直しにあたることから、法務大臣及び公安審査委員会に、観察処分の更新を求めること等を要請していくことが決定されました。

総会終了後には公安調査庁から、オウム真理教は、未だに麻原への絶対的帰依を維持しつつ、若い信者を増やし、組織拡大に向けた動きを活発化しているとの報告がありました。意見交換会では、滋賀県湖南市の施設

が今年3月に全焼し、甲賀市に信者が移り、新たに出来た信楽施設周辺の住民からの不安な思いが、初めて南鳥山施設に居住してきた時と重なり、今まで以上に住民協議会も情報を共有して、互いに協力をしながら交流を深めてゆきたいと思いを強くしました。

今年度は、観察処分の更新を求めるために、ともに連携を図り活動してゆくことを皆で誓い合った総会となりました。

平成29年度 オウム真理教対策関係市区町連絡会総会



署名・募金活動 (下町まつり・桐の会発表会会場で)



6月3日(土)晴れた青空の下、第8回下町まつりが開催されました。来賓・関係者のオープニングセレモニーのあと、近隣小学校生徒による、パフォーマンスダンスや地域で活動している音楽グループの生演奏ライブなど、普段はなかなか出会えない場面が盛りだくさんでした。住民協議会では、4月8日のリサイクルバザーから始めた、観察処分更新の署名活動に取り組みました。面板を首からさげて、会場内を回って下さった課長さん、帰りに署名用紙を持ち帰っていいですか?と何枚か持ち帰った議員さん、署名の後、いつも募金しているからと、募金箱に小銭を入れてくれた女性、長い活動の中で出来た絆でしょうか。いつもありがとうございます。

さて翌日の6月4日(日)は、会場を変えて第41回「桐の会発表会」の琴の演奏会におじゃましての署名活動です。今回初めての会場です。前日から用意した署名用紙もほぼなくなり、2日間の活動を終わりました。いつもながら先頭に立ってくださった、鳥山上町会婦人部の皆さん、署名・募金部の皆さんご苦労さまでした。

住民協議会活動報告

6月22日(木) 実行委員会

6月26日(月) 編集会議 協議会ニュース167号初校正

7月3日(月) 編集会議 協議会ニュース167号再校正

7月4日(火) 事務局会議

7月11日(火) 協議会ニュース167号発行

協議会ホームページアドレス <http://www.kyogikai.jp>

この協議会ニュースは、皆様の募金により発行されています。